



バングラで子供服生産

丸久が欧米向け新工場

【徳島】子供服メーカーの丸久(徳島真鳴門市、平石雅浩社長)はバングラでバングラデッシュ工場ではカジュアル定番商品を生産する

ラデッシュに工場を建設し、現地生産を始める。このほど現地法人を設立、2010年4月に操業を始める予定。第1期の投資額は約3億円、最終的な

投資額は10億円を超える見込み。同社の海外工場はタイ、中国に続き3カ所目。欧米向け製品の生産拠点を育てる。工場は首都ダッカから

約15キロの場所にある輸出加工区に建設。敷地面積は1万6000平方メートル、建物面積は5400平方メートル。子供服を中心としたカジュアルの定番商品を生産する。月25万枚を生産する計画。当面は全量を日本国内の大手量販店や衣料専門店のPB(自主企画)商品などと

して販売する。第1期は縫製とプリントの工場、2期と3期で染色工場と生地製造工場を建設する予定。2期以

降は現地生産する中国とタイの企業との合弁となる見込み。

バングラデッシュは月額賃金が4000円前後で中国の約5分の1の水準であるほか、若年層の労働力も豊富にある。同社の地域別生産比率は現在、中国70%、タイ25%、日本5%だが、今後は中国45%、バングラデッシュ30%、タイ25%になる見込み。中国は低価格品、タイはこれまで日本で生

産していた高級品を生産する。

欧米の主要アパレルはバングラデッシュでの生産に力を入れており現地の技術水準は高く、丸久は将来、欧米向け商品の生産拠点を育てる方針だ。